



次へつなぐ
若き先駆者たち
[ネクスト]



子どもたちの未来に
スケートボードという希望を!

清里NBスケートパーク 代表

林 YOSUKE **陽介**
HAYASHI

X スケートボードカルチャーを根付かせ、地域に貢献できるパークを作りたい！

プロスノーボーダーとしてアメリカやヨーロッパのチームに所属し国内外で活躍してきた林さん。プロ引退後、3人目のお子さんの誕生を機に、自然豊かな子育て環境を求めて東京から北杜市に移住しました。

「北杜市に来てから、子どもと一緒に趣味のスケートボードをしようと思いましたが、当時県内には、きちんと管理され、天候に関係なく安全安心に楽しめるスケートボードパークがありませんでした。オリンピック競技になりスケーターは増えている一方で、環境が整っていないために安全面やマナーなどの問題が出てきています。移住してきたのも何かの縁だと思い、この地域に天候や昼夜を問わず、大人も子どもも安心して楽しめるパークを作ろうと決意しました」

林さんが注目したのは廃校となった高根清里小学校でした。小学校がなくなった地域にスケートボードカルチャーを根付かせ、若者や子育て世代を呼び込み、地域の活性化につなげたいという思いがあったといいます。

「クラウドファンディングで資金を募って資材を購入し、DIY（日曜大工）でパークを作りました。県内のスケーターをはじめ、たくさんの方の協力のおかげで無事完成させることができました」

X 子どもが多様な価値観に触れられる場所に

パークは昨年1月にオープン。

「本物に触れられるレベルの高さと、初心者やお子さんでも安心できる敷居の低さを持った、みんなが楽しめる空間づくりを大切にしています。大人が心から楽しんでいる姿を見せれば、そこから子どもは何かを感じ取っていきます。子どもは興味や楽しみをきっかけに学びを深めていくことが大事だと僕は思います。そしてここで遊ぶ中で、子どもが普段のコミュニケーション以外にも新しいつながりを作れたらいいなと思っています」という林さん。

今後の目標には、これからの時代を生きる子どもへの思いがありました。

「集団が得意な子もいれば、1人が落ち着く子もいます。学校が好きな子がいる一方で、既存の学校のシステムが合わず学校に行かない選択をする子もいます。ここにいる大人は、子どもの多様性や個性を尊重し寄り添うことを大事にしています。家でも学校でもない、第3の居場所として誰もが安心して遊びに来られる、そんなパークにしていきたいです」



林 陽介さん

プロスノーボーダーとしてアメリカやヨーロッパのチームに所属し国内外で活躍。プロ引退後、東京から北杜市に移住。清里NBスケートパークの運営と並行し自伐型林業にも携わっている。



未就学児、小学生向けのキッズスクールも開催



パークにはたくさんの仲間が集う



トリックを決める林さん



パーク内ではショップも運営している

INFORMATION

**KIYOSATO
NB SKATEPARK**

北杜市高根町清里3545-2083

